

# つなぎあつて元気に

26

2010 夏号

## 核も戦争もない二十一世紀を子どもたちへ

平和への願いを新たにする夏がまたやってきました。

被爆から65年、原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に、今年初めて核保有国の代表が、広島にはパンギムン国連事務総長やルースマメリカ駐日大使も出席するなど、ヒロシマナガサキから発せられた核廃絶への願いは、世界の潮流となりつつあります。

今年も、大牟田から、働く仲間やその家族の皆さん方と原水爆禁止世界大会 長崎大会に参加しました。会場では核兵器廃絶 平和に向けた世界各地の人々のたくさんの思いを改めて感じました。また、今年5月に行われたNPT再検討会議で明らかになった核廃絶への展望「簡単ではないが可能である」ことについて学びました。



### 平和祈念公園

式典後の会場には、まだまだ多くの人々が祈りを捧げていました。



### まとめ集会 長崎総合体育館

平和大使に選ばれた高校生が率直に伝えたい思いを語りました。その後、一万人署名に取り組んでいる高校生と共に平和への願いを込め、「この声を、この心を」と「世界が一つになるまで」の合唱を披露してくれました。心のこもった歌声が参加者の胸に響きました。

### 慰霊墓参・平和行進

銭座小学校で慰霊墓参、長崎総合体育館での閉会総会の後、体育館から爆心地公園まで、約1.2キロを歩きます。台風発生の影響で、例年のじりじりと暑い陽ざしはなく、小雨交じりの中の行進でした。



### 爆心地公園

子どもたちが代表して千羽鶴を捧げた後、原子爆弾投下時刻11時2分、犠牲となられた方々のご冥福と、核廃絶・世界平和の実現を願い黙とうしました。



### 平山光子後援会

#### 事務所

大牟田市原山町1-5  
0944-53-1661

#### 自宅

大牟田市倉永1651  
0944-58-1252

#### メールアドレス

mitsuko2007@tng.bbq.jp

#### ホームページ

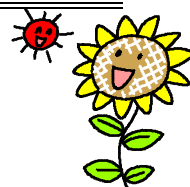
www.mitsuko-hirayamanet

移転しています



# 光子の部屋

2010 夏号



## 原水爆禁止世界大会長崎大会に参加して

### 大牟田原水禁は37名で長崎大会へ

8月8日から9日まで、子ども十名を含め、三十七人で長崎大会に参加しました。六時半に出発し九時過ぎには長崎に着きました。午前中、午後と思いいい分科会や交流広場、フィールドワークなどに参加します。二日目は多くの子どもたちが原爆の犠牲となった銭座小学校に慰霊墓参した後、まとめ集会が行われる長崎総合体育館へ。閉会后、爆心地公園まで平和行進。原爆投下時刻十一時二分に黙祷。昼食後、各々原爆資料館や平和公園を訪れたあと、帰途につききました。

### 被爆体験を聞いて

往きのバスの中で参加の思いを含め一人ずつ自己紹介しました。その中で、長崎で被爆された被爆者の会の北島さんが65年の節目ということで初めて自身の体験を語られました。家族全員が亡くなり遺骨さえ分からなかったこと、凄惨なまちの状況、その後、着の身着のまま親戚の家まで、みな言葉もなく聞き入りました。今まで語ってこられなかった思いと共に、その言葉はとても重たく心に沁みました。

### NPT(核不拡散条約)再検討会議の評価は:

今年5月に行われたNPT(核不拡散条約)の5年ごとの再検討会議については、核廃絶への行程表や期限設定がなく期待はずれという意見と、前ブッシュ政権のもと破綻の危機にあったNPT体制が復活し核廃絶への展望を開いた、と評価する意見に分かれています。再検討会議で日本の果たした役割や課題、核なき世界への展望等についての詳しい報告を聞くことが、私の今回参加の大きな目的でしたので午前中は分科会1、平和と核軍縮1(核兵器なき世界への課題と展望)に、午後はピーストーク1長崎に参加しました。

パン国連事務総長から提案されている画期的な核兵器禁止条約への考慮がNPT再検討会議の合意文書に盛り込まれました。世界的に気運が高まる核兵器廃絶への流れをさらに前進させるため、広島長崎市長の平和宣言にもあるように日本政府は被爆国としてしっかりと役割を果たさなければなりません。

### 核兵器はいけない、でも、「核の傘」は必要...

これが大半の日本人の意見と言われています。核兵器を持つ中国や北朝鮮の脅威から守ってくれているのはアメリカの核の傘であるという核抑止論。その考えから脱却するのは簡単ではありません。

### 世界に広がる非核兵器地帯

しかし、世界では、非核地帯条約を締結し、核兵器を持たず、核保有国から核攻撃の威嚇も受けられないとする非核兵器地帯が広がっています。すでに、118カ国、約21億人(世界の約30%)地球上の陸地の50%が非核地帯となつています。直近では、昨年、中央アジア非核地帯条約(5カ国)とアフリカ非核地帯条約(50カ国)が発効されています。日本も北東アジア非核地帯条約制定に向けて粘り強く努力すべきだと思います。

不信と脅威に満ちた「核兵器ある世界」か、信頼と協力にもとづく「核兵器のない世界」か、それを選ぶのは私達です(長崎平和宣言より)



被爆体験を語っていた  
だいた北島さんの母校  
銭座小学校慰霊墓参



平和公園にも、核兵器  
廃絶、世界の平和を願  
いたくさんの千羽鶴が